

204

の追悼式は4日午後7時 Recreation Hall に於て
キリスト教中降牧師司式により行はれた。羅府の
伴夫が弔辞演説を述べた。大脱線にて切角
の厳肅気分と化した。会葬者諸君が受ける
遺憾の意を漏らした。

March 4 (土)

二名
の新
兵

ヤマから又一名黒川某君が送られて来た。十六
歳に收容される年である。同君は同地方の会
の理事と過去の五年に亘り従軍してゐた。前戦
同時の一宿検の犠牲である。去る一日に
漸く検査される。云々。

元々在住者奥田勇君は奥地車所の鉄道職
働中と検査され收容された。同君は奥田翁の甥であり、
豫備兵でもあるといふ。

March (日) 日 Easter Sunday.

キ
リ
ス
ト
の
大
復
活
祭

白百合の芳名裡に各教会がキリストの復活を祝
賀する Easter Sunday である。例年此は大場さん
が、誰れからか、きつと僕の妙愛する純白の Lily-鉢
を贈つて笑ふのだ。戦時の今年は流石に市、英字
紙にはシーズンの Lily 廣告が全く其の姿を消して、
都市の淋しさを反映して居る。

敗戦の花は再び復活祭

数日前キャンプ内、基督敎信者によつて、大十字架が

205

中世四番倉の前方廣場、enceに近く建設され、
 午前十時頃十字架前にて復活祭早天祈禱
 会が伴氏司式の下、中條牧師の祈禱、松永牧
 師祈禱等によって行はれた。遠く背後に山を挟り、
 荒涼の原野には偶々一木か遠近に淋しく
 存在するの逆さ。青暁は既に過ぎ、曙きは
 山の端に影と映じて島嶼が何処かに峙る音
 いくとも来がでる。晩春早朝の春情の気は、いかめき
 鉄網の柵に平和の波を漂はせてる。十字架の
 前には既に同様の同胞が三名ばかり不動の姿
 勢で黙々と祈りを上げてる。見ゆる限りの傘倉
 には灯火臭くして今日の復活祈禱に参列の早
 起きと見える。やがて各聲から配々服姿の
 参列者が思ひ々々の方向と辿り、十字架前
 に参集するのである。憂ひの表情ばかりである、キリストを
 棄て信仰の生さんとの喜びの明さは一人も見ら
 れん。煩悶と憂鬱と或は失望に怯へてた白
 髪花頭の目ら照らんとする落伍者の多数に
 思はれる。無に淋しき復活の祝典といへや。
 キリスト信者は申すことも無いが、多年の佛教信者
 を以て仕する人、佛教会への過去の生涯と
 通じ、通んでその難持発展に参画した老年者
 連も亦十字架に拝し、祈りに首垂れ即ち讃
 美歌に、キリストの愛護を乞ふ姿を多く見受け
 たる。日常の修養と鍛煉とも欠く、虚栄の

指導者輩は、今更に神佛に泣き着き慰みと受頼する。だが
今でも渾くふいのやが、佛からキリストへ或は基督から佛へと、
自在の信仰と希求にてゐるのは最も喜ばしい現象と謂へよう。

(村岡君 快方)
僕は伴右の説教が始つたので猿々の態で仲途十字架
前と退散した。吾が廿五番舎は、祈禱祭場に近いた
け、真に信仰に燃ゆる者、名ばかりの信者で今の境
遇に神の愛憐と乞ふか爲の、のこのこ出かける者、併
して好奇心に駆られた人々、舎同人の大半は参列した。
午後十七時病舎に村岡君を見舞ふ。漸く快方に
向ひ、稍々え氣と取り戻して来た。

(春と金光教)
金光教の平山君は、茲數日前から何んと思つたか、遠
に早起きになった。今まで朝寝坊の旗頭にかゝるに時
間無視の巨頭の一人でもあった。金光教は寒中は冬眠
で、春からの宗教だとは同人連の要口だ。春背後のbilen
roomで祝詞を唱へてゐるのも春らしい風景とも云へる。

夜、村岡君から苗キヤムフ人員の發送した電報
及び着簡數いっき左の如き報告があった:

① 本日迄の取扱電報料 = 卅3187⁴⁹

② スタンプ代 = 卅804⁰⁰

③ 取扱着簡數 = 16500 通乃至 17000 通。

④ 入院患者數 = 43人

⑤ 入院患者人員 = 1208人

⑥ 医師処方箋 = 2983回

⑦ 施薬 = 244回

以上、數と干し、電報料の如き実に莫大の數と

207

(移動命令報告)
前考)

上げてゐる。

April 6. ⑤ 移動命令報告 ⑤ 四月六日(月)

午後八時半頃、新助役の三厚巻来会、"Bad news
を申し上げます"との前投のフル一部人員の他の地兵
に移動の命令があらる旨を発表し、其の移動者の
姓名を讀み上げる。実に文字通のへき處の雷声と
も思へる。曰く、

宇井、福田、伊藤、石橋、松浦、井上、都、佐藤、笠岡、
厚田、中道、守長、小野、崎村、平山、篠目、近藤、
浜上、竹岡、車、車野、池谷、小山(敬)、坪井、境野、
小林、富永、大塚、岡崎、岡村、杉山、西野、田中、
加藤。

即ち小山、松島兄弟、角田、中井、及び山本等の諸君を
除く者の軍令は全部移動するであつて、其先は発表
される單に南方三晝夜の旅程距離とのみであり、
且今次移動のめぐり家族への通知は

Being moved don't write until hear from me と
電文を以て一定する旨の通達だ。

全員の突然驚愕は、実に名状し難く全く形容詞
の発見に困らん位である。吾人の受ける shock は
冷水と浴びせられん位には凡て生温い言葉だ。いはば
誰れも言葉と発する事は出来なかつた。この時間の経過
するにつれて desperate の憤懣は猛烈な勢で爆発
するのであつた。抑も North Dakota か New Mexico か。
南方とあるは New Mexico であらう。吾人の不安を